

私たちの活動や意見を仲間
で共有します。
会費は県と日本平和委員会
の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2022年6月15日 第364号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiuraheiva.web.fc2.com/

2022年
参議院選挙

平和のゆくえがかかった選挙

憲法改悪・「敵基地攻撃」軍拡ストップを！

ロシアによるウクライナ侵略が続き、戦争状態の長期化が危惧される中、平和の進路、国民のいのちと暮らしがかかった参議院選挙が目前に迫っています。(6/22公示・7/10投票)

この機に乗じて、岸田自公政権と日本維新の会などの補完勢力が、憲法改悪、「敵基地攻撃」軍拡、非核三原則破壊などを推進しようとしています。

参院選後の3年間は大きな国政選挙が予定されていないことから、この選挙で改憲勢力が3分の2を占めれば、衆参共に改憲勢力が3分の2以上となり、憲法改悪を発議することが可能になります。これを許さない構えと取り組みが

大切です。

私たちの活動の拠り所は世論です。国会議員数で多数をもぎ取っても、下記の調査結果を見るとおり、憲法改悪や日本の軍備増強を許さない世論は健全です。ここに確信をもって、悔いを残さぬ選挙戦をたたかいぬきましょう。

平和を求める世論は生きている！

(5月3日掲載の朝日新聞世論調査より)

憲法9条は(条文を読んで回答)

「変えない方がよい」59%

「変える方がよい」33%

安全保障で重要なのは

「非軍事」73%

「軍事」19%

専守防衛方針は

「維持」68%

「見直す」28%

非核三原則は

「維持」77%

「見直す」19%

日米地位協定は

「必要ない」6%

「改定を求めるべき」91%

「平和新聞」2293号より転載しました



憲法共同センターの抗議アピール行動



なくそう核兵器

国民平和 大行進 土浦行動に参加しよう！

5月8日に北海道を出発した2022年原水爆禁止国民平和 大行進「北海道-東京コース」は、6月30日に福島から茨城に入り、7月13日まで県内市町村を行進します。7月9日には石岡から土浦に入り、亀城公園での集会、続いて市街地行進とスタンディングのセット開催となります。

コロナ下での2年間のブランク(宣伝カー行進のみ実行)を経た開催で、行進は大幅にコース短縮し、最後にスタンディングでのアピール行動としました。核使用の脅し、核共有などの危険な動きを阻止する上で、重要な行動です。みなさんの参加を心から呼びかけます。(右行程の途中参加もOKです)

7月9日(土) 土浦行動プログラム

(10:00 石岡から宣伝カー引き継ぎ)

10:00~10:30 亀城公園「出発前集会」
(10:45 行進出発)

10:45~11:30

行進 2.4km(小松坂下経由、コープ土浦店前着)
(これまでの8.5kmコースを大幅に短縮しました)

11:30~12:00

コープ土浦店前でスタンディング
(12:30 解散)

■宣伝カーは14:30まで運行、阿見に引き継ぐ

土浦平和の会第29回総会 & 記念学習企画

**ウクライナ侵略問題～
いま、私たちに求められているものは**
講師:川田 忠明さん(日本平和委員会 常任理事)

6月19日午後、土浦平和の会第29回総会の記念企画として、日本平和委員会常任理事の川田忠明さんがZOOM会議で行った講演の動画を視聴します。反核平和運動の第一線で活躍している川田さんの目から見たウクライナ問題をご一緒に考えましょう。

日時:6月19日(日)13:30～
ワークヒル土浦

第1部 平和学習
第2部 土浦平和の会第29回総会

怒

「社会保障のため」の大ウソ

「消費税を下げるべき」との野党の国会質問に対し、「わが国の消費税は社会保障に充てるためのもの」と繰り返す首相と閣僚。安倍、菅、岸田と続く政権のオウム返して、もはや自民党家の家訓かと言いたくなる。

「嘘も百回言えば真実となる」という ナチス・ドイツの宣伝大臣ゲッベルスの言葉が頭をよぎる。国民生活向上の要求には「財源をどうするんだ」といきり立つ自民党が、軍事費倍増＝5兆円以上の軍拡の財源にはだんまりを決め込んでいる。

新しい年金額の通知が届き、その減額に怒り心頭の折の国会中継は体に毒だ。(理事 M・O)

憲法共同センター 次回行動は6月18日

6月街頭アピール 行動

ロシアはウクライナから撤退を

6月18日(土) 午前10時～

ケーズデンキ真鍋店前

思い思いの
メッセージ・プ
ラカードをもっ
てふるってご参
加ください。

2022年「8・15平和のつどい」

名作映画 「ひまわり」

(50周年HDレストア版)

地平線のかなたまで続く一面のひまわり畑に流れ出す哀愁のメロディ。ひまわり畑の撮影は現在のウクライナの首都キーウから南へ500kmほど離れたヘルソン州で行われた。戦争で引き裂かれた男女の悲しみを描いた名作として映画史に刻まれる名作。ロシアによるウクライナ侵略の中で「戦争とは何か」を伝える映画として再び注目され、共感が広がっています。



日時: 8月13日(土)14:00～

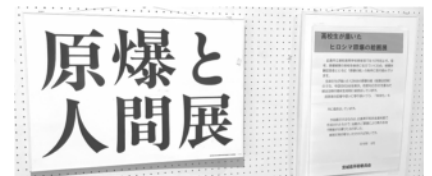
会場: クラフトシビックホール土浦 (市民会館)

主催: 「8・15平和のつどい」実行委員会

被爆から77年、あらためて“平和”を考える

2022 原爆と人間展

原爆パネルと高校生が描いた原爆の絵画展



8月11日(木・祝)～14日(日)

午前10時～午後5時

県南生涯学習センター (土浦市役所5階)

コロナ禍で、2年間中止をよぎなくされていた恒例のパネル・絵画展を再開します。

とりわけ今年は、ロシアによるウクライナ侵略という暴挙の中、核兵器の使用をほのめかすという、決してあってはならない言動をきっかけに、日本国内でも“核共有”など、平和に逆行する危険な動きが表面化しています。いまこそ、核兵器がもたらす悲劇を強く世界に発信しなければなりません。

初日特別企画 ■被爆関連DVD視聴

「The A-bomb」

ヒロシマで何が起こったか

8/11(木・祝) 13:30より

同フロアの「講座室」にて 入場無料

《作品介绍》 広島を「熱線被害」「爆風被害」「救護活動」「放射線被害」の4項目に分け、当事者の証言インタビューを織り交ぜながら、原爆を知らない若い世代にも分かりやすい内容で伝えます。(46分)

主催: 土浦 原爆と人間展実行委員会

後援: 土浦市・土浦市教育委員会

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費: 月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行): 月額593円(送料含)

